

志教育の 視点	☒ かかわる ・ ☒ もとめる ・ ☒ はたす
------------	---

活動名	地域探究プロジェクト
教科・領域等	総合的な探究の時間
活動学年等	1 学年, 2 学年
ねらい	・ 農業科学科、企画デザイン科、総合ビジネス科の3学科が連携し、地域の課題を見つけ解決することで地域活性化を目指す。 ・ 多様な考え方をもつ他者と協働し、課題を解決する力を身につけ、社会に貢献できる人材を育成する。

【実践内容】

〔志教育の視点〕

学科間連携や地域連携を通して社会性や協働性を涵養するとともに職業観や勤労観を醸成する。

〔活動内容〕

1 課題設定に関する講演「探究活動の学びと地域を調査研究するための課題設定について」

地域を調査・研究するための課題設定についての考え方や手法を学んだ。それぞれの学科の学びに合わせた地域の現状を知る調査研究が活動の中心となるが、これから地域をフィールドとした学びをスタートするために、調査研究する前段階での課題設定、ポイントとなる視点やその手法についての講演を聞いて、学習を行った。その際に、地域との関わり方についても知る機会となった。

2 地域人材講演会

地域の産業を支える方々から農業や食糧に関することの他、起業や地域起こしについての講演を聞くことにより、地域の産業に関する理解を深めるとともに社会意識を高める機会とした。

3 フィールドワーク

地域をフィールドとして地域課題解決型の学習に取り組んだ。1年次は「地域を知る」ことを目的とし、農業科学科は地域の農業、企画デザイン科及び総合ビジネス科は地域の商業について調査・研究を行った。

5～6名で構成した班毎に調査・研究対象の事業所を訪問し、それぞれのテーマに沿った「知りたいこと」を調査した。各事業所では、生徒たちだけで取り組みについて質問をして調査を行った。

活動をととして、班内メンバーとの関わりや他、事業者との関わりも含め、社会性や協働性を培った。また、調査をすることで、職業観や勤労観に触れる機会となった。

4 活動報告会「Future Conference（フューチャー・カンファレンス）」

1年間の活動の報告・発表だけではなく、生徒それぞれの活動から得た情報を共有し、次年度以降の学科間連携、そして探究活動から得た学びを生徒自身の未来、地域の未来に繋げる場として行った。

